

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 科目名/提供大学名                   | 科学技術と社会／福井大学  |
| 科目名(英文)                     | Technology and industry in regional society   |
| 対象学年                        | 原則として、全学年。  |
| 開講時期                        | 前期・火曜5限目  |
| 単位数                         | 2単位   |
| 科目区分                        | 選択(地域コア科目群:「ものづくり・産業振興・技術経営分野」)   |
| 授業形態・開講形態                   | 講義・グループワーク  |
| 担当教員名                       | 葛生 伸  |
| オフィスアワー                     | 質問・個人的な相談についてはメールでアポイントを取ってください。授業後の質問も歓迎します。   |
| 教員メールアドレス                   | <a href="mailto:kuzuu@u-fukui.ac.jp">kuzuu@u-fukui.ac.jp</a>  |
| 概要                          | 地域社会の中で、産業人としての生きていくための勤労観、自己指導・育成能力、デザイン能力をつけるための基礎を技術の発展・推移について主に福井県の産業および産業発展の歴史を事例にあげながら、講義に加えてグループで調査・討論を通して学ぶ。  |
| 学習・教育目標との関連                 |   |
| 授業目標・目的                     | 地域社会の中で、産業人としての生きていくための勤労観、自己指導・育成能力、デザイン能力をつけるための基礎を身につける。さらに、産業構造に変化に伴い、強みを活かしながら生き抜いてきた様子と人間の生き方を対比して学ぶことを通じて、将来の変化に対応しながら生き抜くための人生観を見つけ、身につけるための手がかりをえる。  |
| 身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力) | 産業の変遷を学ぶとともに、異なる専門、異なる大学の学生が協働して調査・学習・討論することによって「モノづくり」に加えて「コトづくり」能力および人と関わる能力を身につけることの重要性を認識するとともに、様々な特性、能力、バックグラウンドを持った人が協働することに必要性を認識する。   |
| 学生の目標・到達目標                  | 協働的学習を通して、様々な考え方、特性を持った人がいることを意識する。さらに、他人の意見を否定的に考えるのではなく、自分の意見と違っても、共通項、肯定できるところ、参考にできるところを見出し、自分の意見と併せてさらに改善した意見を創出する建設的な討論をする姿勢を身につける。さらに、福井県にある具体的な企業を知るとともに、創業以来の変遷、福井の地理的、歴史的背景と現在の業態を結びつけて考えることを通じて、歴史や様々な風土的、文化的背景を考慮して物事をとらえる姿勢を身につける。   |
| 授業計画・授業内容                   | 第1回:はじめに: 授業の目的と概要説明。レポートの書き方, 受講の心構え<br>第2回: 科学と技術の違い<br>第3回: 現代における技術者の役割と仕事<br>第4回: 技術と技能の発展の歴史:「農業と産業」「技術と技能の違い」「技術の発展の歴史」<br>第5回: 技術者の育成の歴史と現状: 徒弟制度から、技術者教育の歴史<br>第6回: 産業と安全衛生・労働問題。<br>第7回: エネルギーと科学技術: エネルギー消費の変遷, 現状, 将来展望, エネルギー・環境問題と国際関係について学ぶ。<br>第8回: 産業と交通, 地理的環境, 防災: 産業は発展と交通・地理的環境について学ぶ。水利と災害・防災工事について歴史的観点で学ぶ<br>第9回: 歴史的・地理的観点からみた福井の立地と産業: 日本海に面した福井県の古代からの交通, 自然の恵みとの関係を学ぶ。<br>第10回: 科学技術や産業の発展に関わった福井の人物: 広い意味での科学技術や産業の発展に関わった福井県ゆかりの人物について学ぶ。<br>第11回: 未来の社会とエネルギー・情報: 現在の技術の問題を踏まえ, 将来の社会はどうなるかを考える。<br>第12回: 討論: 将来の社会・産業仕事はどう変わっていくか?<br>第13回: 討論の発表<br>第14回: 創造的に生きていくためには: 自分の人生を前向きに創造的に生きていくための生き方, 「モノづくり」「コトづくり」できる人材育成(=ヒトづくり)<br>第15回: 未来の福井の発展のために。 |
| 授業方法                        | 講義およびグループワークで行う。ほぼ毎回、グループで手分けして事前調査をし、毎回5分程度で説明をもらう。グループは異なる大学の学生を含むように最初の時間にしている。  |
| キーワード                       | 福井の産業, 技術の発展, 産業の歴史的・風土的・文化的背景  |
| 教科書                         | 毎回資料を配布する。福井県産業労働部作成サイト『「実は福井」の技」<br><a href="http://info.pref.fukui.jp/tisan/sangakukan/jitsuwafukui/">http://info.pref.fukui.jp/tisan/sangakukan/jitsuwafukui/</a> を教科書に準じて使用する。  |
| 参考書                         | 授業の中で提示する。  |
| 評価方法・評価基準                   | レポート(35%)最終レポート(40%), プレゼン(10%), 授業中の発言など(5%)を総合して評価する。   |
| 関連科目                        | 特になし  |
| 履修の要件                       | 特になし  |
| 必要な事前・事後学習                  | 毎回指定する。   |
| その他・注意事項                    | 異なる大学の学生でグループを組むようにする。時間外の準備などは連絡し合って行うようにする。組分けもあるので、初回は必ず出席すること。初回欠席する場合は、メールで連絡すること。   |